

生活科（植物の栽培活動）で活用する（小学校第2学年）

【活用した資料】

- 小学校版「心あかるく」 p.100 第三章 「⑩ 元気に そだってね」

【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 3ー(2)「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。」

○ 単元の導入で、植物の生命と触れ合った経験を振り返る機会として。

生活科で植物の栽培活動に取り組ませる際に、単元の導入で「心あかるく」第三章 p.100「元気に そだってね」を活用しました。

あさがおを育てたときの体験を振り返らせるために、「心あかるく」p.100の文章を読み、水やりをしているときや花が咲いたときに、どのようなことを考えたり感じたりしたのかを思い出させて、書き込ませました。植物にも、人や動物と同じように生命があり、少しずつ成長していくのだということを確認し、これから育てていく植物の生命とどのように関わっていけばよいのかを考えさせました。

○ 事後学習では、植物を愛し大切にすることを育むために…。

自然に親しみ、植物に優しい心で接しようとする気持ちを育ませるために、植物の栽培（第2学年では様々な野菜の苗の栽培）を振り返らせ、思ったことや感じたことを「心あかるく」p.100の「二年生」の欄に書き込ませました。その際、今回育てた野菜も水をやらないと枯れてしまうことや、毎日成長して、花が咲き、種ができるという変化があることを確認しながら、植物のもつ不思議さや生命のもつ力に気付かせるようにしました。

また、近隣の自然環境にも目を向けさせ、自然を愛し大切にしていこうとする気持ちを育ませるようにしました。